

事業項目	久留米		小郡三井		大川三瀬		浮羽	
	実施	主な内容	実施	主な内容	実施	主な内容	実施	主な内容
① 研修実行委員会 (センターにより名称等は異なる)	○	-	○	-	○	-	○	-
② 多職種連携研修会	○	・事例検討「看取り間近の方へ 歯科診療が出来る事」【参加者53人】 ・事例検討「要介護4 認知症の女性利用者 要支援2の夫と2人暮らし」【参加者54人】	○	・多職種連携の課題を共有と意見交換【参加者50人】	○	・講演「大木町における認知症初期集中支援チームの活動について」【参加者122人】 講師:大木町役場 中尾 美世子氏 ・講演「在宅での薬剤管理について」【参加者175人】 講師:杉の樹薬局 薬剤師 杉岡 勇樹氏	○	・事例検討「訪問看護と多職種でかかわった患者さんの事例発表」【参加者67人】 講師:浮羽医師会訪問看護ステーション看護師 大野 美津子氏 ・講演「“人として生きる”を支える」【参加者75人】 講師:歯科衛生士 尾形 由美子氏
③在宅医療・介護従事者研修会	○	・講演「在宅での多職種連携」【参加者144人】 講師:田中まささはるクリニック院長 田中政治氏 ・事例検討「食道癌末期・脳転移ご自宅での看取り」【参加者54人】 ・事例検討「自宅で看取りたい～でも仕事は休めません～」【参加者42人】	○	・講演「2018医療・介護の報酬改定 高齢者の生活環境と地域包括ケアシステム」【参加者85人】 講師:麻生介護サービス株式会社 柳 倫明氏 ・講演「認知症による精神症状への対応 介護のコツ」【参加者】88人 ・講演「グループホームで出来る褥瘡ケアと予防について」【参加者20人(予定)】	○	・講演「高齢者の大腿骨近位部骨折の診断と治療について」 講師:高木病院 山内 豊明氏 ・講演「高齢者の大腿骨近位部骨折～リハビリテーション～」 講師:高木病院 上田 信弘氏【参加者84人】 ・講演「『医師アタマ』と付き合いには」【参加者39人】 講師:いちのせファミリークリニック 一ノ瀬 英史氏 ・講演「訪問看護とは～訪問看護を詳しく学ぼう～」【『繋がる』～地域を支える】【参加者92人】 講師:おおかわ訪問看護ステーション 三好 みゆき氏、大川三瀬医師会 宮原 和華子氏 ・講演「眼科の点眼薬について」「皮膚がんについて伝えたいこと」【参加者72人】 講師:おの眼科 小野 英尚氏、上野医院 鈴木 康之氏	○	・講演「地域包括ケアシステムとは？」【参加者64人】 講師:久留米市、うきは市地域包括支援センター ・「人生の最期まで食べ続けられる幸せを！」(予定)
④同行訪問研修会	○	・テーマ「訪問看護の実際」【2回実施、延べ参加者8人】					○	・多職種合同訪問 延べ7人 菊池医院菊池氏、西見医院西見氏患者宅への同行訪問
講演会(市民公開講座)	○	・講演「初めての在宅ケア～さあ、一緒に考えてみましょう～」【参加者120人】 講師:さくらのクリニック院長 鷺坂 英輝氏	○	・講演「自宅で治す 自宅で看取る 在宅医療～老衰による最期を自宅で迎える～」【参加者60人】 講師:大刀洗診療所 橋本朋也氏			○	・講演「肝硬変と脂肪肝の栄養・運動療法」【参加者74人】 講師:久留米大学 川口 巧氏
出前講座	○	・在宅医療について【参加者:くろめ傾聴ボランティア19人、よかよか教室19人】			○	・テーマ「在宅医療～訪問看護とは～」【参加者計151人】 講演「なぜ今、在宅医療なのか？」講師:大川市 中尾氏 講演「訪問看護の実際について」講師:大川三瀬医師会在宅医療相談員 宮原 和華子氏 ・講演「在宅医療の現状」【参加者12人】 ・講演「在宅医療連携センター活動状況及び訪問看護について」【参加者50人】 ・講演「心臓病について」【参加者35人】 講師:いしばし循環器内科 石橋 裕二氏		

○平成30年度の各センター毎の事業総括(注力して取り組んでいる事業など)

<p>(久留米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修におけるグループワークや在宅医療介護従事者研修、同行訪問を通じて、地域の医療・介護関係者が互いの業務の現状、役割、知識等を学び、顔の見える関係が強化された。 ・医療機関や介護事業所の在宅療養・介護の情報についてホームページの更新作業に取り組み、市民や関係者がよりの確に地域資源を把握できるように努めた。 ・次年度は在宅医療介護従事者研修がマンネリ化しないよう、医療介護従事者のニーズをアンケート等で把握しながら内容を工夫して実施していく。 <p>(小郡三井)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の情報共有支援のため、他自治体を参考としながら退院調整ルールの策定やアドバンス・ケアプランニング(ACP)シート作成に向けて取組を開始している。 ・在宅医療・介護従事者研修会を通じて、地域の医療・介護関係者が互いの業務の現状、役割、知識等を学び、医療と介護関係者間の連携に向けた取組を実施した。 ・医療機関や介護事業所の在宅療養・介護の情報についてホームページの更新作業に取り組み、市民や関係者がよりの確に地域資源を把握できるように努めた。 <p>(大川三瀬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修におけるグループワークや在宅医療介護従事者研修等を通じて、地域の医療・介護関係者が互いの業務の現状、役割、知識等を学び、顔の見える関係が強化された。 ・住民向け出前講座については、大木町での計画的な実施から取りかかり、久留米市域、大川市域にも取り組みを広げた。 ・次年度は住民や医療介護従事者のニーズをアンケート等で把握しながらPDCAサイクルを意識して実施していく。 <p>(浮羽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携を目標に「顔の見える関係を作る」ことを目標とし、まずは職種別各専門部会を中心に会議・事例検討等を行い職種毎の顔の見える関係づくりを構築する。 ・次に多職種を対象にスキルアップのための研修会・講演会等を各部会の代表者からなる運営委員会で企画し、開催することによって「多職種の顔の見える関係づくり」を目指している。

項目	説明
① 研修実行委員会	研修の実施計画の作成に関する事項、研修会の開催に関する事項、研修会の運営上必要な事項について協議・検討するために多職種にて実行委員会を設置
② 多職種連携研修会	地域の医療・介護関係者がお互いの業務の現状等を知り、自由に意見交換ができる関係を構築するなど、現場レベルにおける医療と介護の連携促進のため、グループワーク等による研修会
③ 在宅医療・介護従事者研修会	地域の医療・介護専門職等に対して、それぞれの職種がお互いの分野についての知識を深め、関係者間の連携を円滑にすることを目的とした研修会
④ 同行訪問研修会	医療・介護関係者と地域の理解促進を目的に、医療機関等の医療・介護従事者の訪問見学等の研修会
⑤ 市民公開講座	在宅医療・介護連携に対する理解促進を目的に、住民に対し在宅医療や介護に関する講演会